

令和7年6月10日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課
課長 山川 尚佳 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

バイオネストワークショップ事業報告書

- 1 実施日：6月7日（土）10：00～12：00 オープンスペース、ガーデン
- 2 担 当：金子美保 橋野浩美
- 3 参加者：15人
- 4 講 師：木下裕文、有日子（株式会社あまがえる）
- 5 目 的：芦屋市でのごみ処理の変化に伴い、市民の生活の中での資源循環を考える。CYCLE COMPOSTの活動から、関心度も高くなってきたゴミの堆肥から、さらに道路に舞い散る枯葉や枯枝を堆肥として循環させる方法バイオネストを通じて多世代と考える場を設ける。
- 6 内 容：ガーデンでの作業を行いながらのバイオネスト取組みの説明
プロジェクターを使い、学校や地域での事例や循環の説明
- 7 アンケートおよび感想
 - ・あまがえる社の方も分かりやすく説明して下さい、「教える」というよりも「伝え合う」事を大切にされていると言われた事が印象に残っています。肩の力を抜いて、できる事から始められたらと思います。
 - ・あまがえるさんの気軽にやってみたらイイ！のスタンスが心地よく、自分でもできそうな気持ちになれました。
 - ・自然を循環させる取組みが素晴らしいと感じました。
 - ・身近なところでもできれば取り組みたいです。
 - ・その後の変化～土に還る様子を発信していただけるとありがたいです。
- 8 振り返り
 - ・バイオネストワークショップで使用した枯葉や枯枝の量を見るだけで、運搬や処理費用を想像することができ、そこを削減し資源として活用できることが身の回りのできる大切なことだと感じる事ができた。
 - ・参加者の年齢層も広く、多世代交流を生み出し、完成した堆肥をどのように利用するかを一緒に考え、活用し、活動に興味を持っていただき、活動者の輪を広げていきたいと思う。そのために、ワークショップ参加者やSNSでの発信を続けて行く。

